

日 時：令和4年10月25日（火）13：00～15：10  
 令和4年10月27日（木）13：00～15：10  
 場 所：新潟空港内2階 有料待合室  
 主 催：北陸信越運輸局  
 協 力：新潟空港ビルディング株式会社  
 社会福祉法人新潟市東区社会福祉協議会  
 参加者：令和4年10月25日 第一部 18名 第二部 15名  
 令和4年10月27日 第一部 24名 第二部 24名

## 〇実施概要

新潟空港関係者（グランドスタッフ、館内総合案内所スタッフ、警備員、施設管理者等）を対象に開催しました。初級編では、アイマスクを使っての視覚障害者体験、日常で使用できる簡単な手話体験、また、ステップアップ編では障害当事者からの実際の生活を基にしたお話をいただきながら、一人ひとりが多様な人のことを思いやる「心のバリアフリー」の取得を目指しました。（内容の詳細については、下段参照）

日時・場所	第一部	第二部		
10/25 （火） 空港内 2階有料待合室	<b>①バリアフリー初級編</b>  13:00～14:00 定員30名 バリアフリーについて、学んだ事がない人を対象とした内容です。「障がいとは？具体的にはどのように対応したらよいか？心のバリアフリーとは？」など障がいやバリアフリーについてご説明します。また、アイマスク体験や「こんにちは」「また会いましょう」等、ちょっとした挨拶の手話を学ぶワンポイント手話体験も行います。 講師 国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 バリアフリー推進課 社会福祉法人新潟市東区社会福祉協議会	<b>②ステップアップ編</b> 14:10～15:10 定員30名 初級編受講またはバリアフリーについてすでに学んだ事がある人が対象です。障がいをお持ちの方のお声を聴き、更なる知識習得、ホスピタリティ向上につながる内容です。 講師 障がい当事者様 2人 【車いすユーザー（身体障害）、弱視の方（視覚障害）】 【講演内容】 1. ご自身の障がいについて 2. 障がいについてスタッフへ伝えた事 3. 障がいをお持ちの方が飛行機に乗る時に知ってほしい事 4. 新潟空港では、こんな事をお手伝いしてほしい	 NPO法人スペースBe 理事長 山崎 勉 氏 モトクロスバイクの事故で頸髄を損傷した影響で、車いすですべて生活しています。普段は就労継続支援施設に勤務しながら福祉活動の一環として小中学校で障害についての講演も行っています。	  
	<b>③バリアフリー初級編</b>  ※10/25と同じ内容です。 13:00～14:00 定員30名 バリアフリーについて、学んだ事がない人を対象とした内容です。「障がいとは？具体的にはどのように対応したらよいか？心のバリアフリーとは？」など障がいやバリアフリーについてご説明します。また、アイマスク体験や「こんにちは」「また会いましょう」等、ちょっとした挨拶の手話を学ぶワンポイント手話体験も行います。 講師 国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 バリアフリー推進課 社会福祉法人新潟市東区社会福祉協議会	<b>④ステップアップ編</b> ※10/25と講師が違います。 14:10～15:10 定員30名 初級編受講またはバリアフリーについてすでに学んだ事がある人が対象です。障がいをお持ちの方のお声を聴き、更なる知識習得、ホスピタリティ向上につながる内容です。 講師 障がい当事者様 2人 【盲導犬ユーザー（視覚障害）、聴覚障害の方】 【講演内容】 1. ご自身の障がいについて 2. 障がいについてスタッフへ伝えた事 3. 障がいをお持ちの方が飛行機に乗る時に知ってほしい事 4. 新潟空港では、こんな事をお手伝いしてほしい	 新潟県盲導犬ユーザーの会 事務局 上林洋子 氏 39歳の時、緑内障が原因で全盲になりました。全盲になってからも多趣味で編み物や短歌を楽しまれている他、長きにわたり小学校で講演をしています。同会の会長も歴任。	
10/27 （木） 空港内 2階有料待合室			 NPO法人にいまーる 理事 白井千恵 氏 新潟市江南区（亀田駅西口徒歩1分）で就労継続支援B型手楽来家（てらこや）とグループホームかめこやで、ろう者と難聴者の就労・生活支援を行っています。新潟大学や医療福祉大学で手話を教える活動もしています。	

## （参加者の声）

- 障害についての基本的な知識を知ることができる良い機会だった
- 「大丈夫ですか？」ではなく「お手伝いしましょうか？」の声のかけ方については参考になった
- 障害の種類もケースも多様なので、まずは声かけを実践して希望や要望を聞いてあげることが重要だと思った
- 障害をお持ちの方はもちろん、お客様ひとり一人に対して丁寧な接客をしていきたい
- 今まででは接し方が分からず避けていたところがあったが、講話の内容を活かしてこれからは積極的に対応していきたい
- 自身も標識などを意識しながら生活していこうと思った
- 空港でのチェックイン、搭乗、到着などで使える手話の講座があると良い
- 手話を学ぶ環境に自分から入って、若いうちから手話でコミュニケーションを取れるようになりたい
- 折り紙体験がとてもよかった
- 当事者の方からの本音が聞けたので、今後に活かしながら新潟空港がよりよい施設になるよう努めたい
- 講話で紹介のあったコミュニケーションボードを、保安検査場にも導入していきたい
- 定期的で開催していただき、より多くの館内スタッフが受講できた方が有益だと思う
- 新潟空港をバリアフリーという観点で施設点検していただき不安全箇所を確認していただけたらと思った



【手話講座】



【アイマスクをしての折り紙体験】